

2021年12月2日



**「外食は控える」人が減少し、外食意向は回復傾向
飲食店の「ワクチンパスポート特典」今後利用してみたい人は51.5%
年末年始に「忘年会」予定あり10.4%、「帰省」予定あり36.7%
「ホットペッパーグルメ外食総研」第6回 外食実態調査（2021年11月調査）**

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、男女1,034人を対象に2021年11月、緊急事態宣言解除後の外食の実態や消費者心理について調査を実施しましたので、結果をお知らせ致します。

<要約>

POINT1 現在の外食意向「当分は様子を見て外食を控える」21.5%。2021年7月より

13.4pt 減少、外食意向は回復傾向

・・・P3-6

▶2021年7月調査に比べると、外食頻度はやや持ち直し、「当分は様子を見て外食を控える」と回答した人は21.5%（前回34.9%、前回比-13.4pt）と減少。

▶外食頻度がコロナ禍前と比べて変化した理由は「感染しないか不安だから」52.4%（前回調査73.3%）、「まだ自粛すべきだと思うから」36.6%（同49.9%）。ともに2021年7月調査より不安が和らいだ様子。

▶今後のお店選びで「都道府県などの自治体の認証を受けた店かどうか」を気にする人は20.8%。

POINT2 飲食店の「ワクチンパスポート特典」を今後利用してみたい人は51.5%・・・P6

▶「ワクチン接種証明書や陰性証明書の持参者に特典のある飲食店」の認知と利用意向は「知っている（すでに利用した）」人が2.3%、「知っている（まだ利用してはいないが、今後利用したい）」人が51.5%。

POINT3 所属団体で忘年会の実施予定が「ある」10.4%、「ない」40.8%・・・P7-8

▶11月上旬時点で忘年会の実施予定が「ある」と回答した人が10.4%、「ない」とした人が40.8%、「わからない」とした人が19.9%、「所属団体はない」とした人が28.8%。

▶所属団体から忘年会への制約の“お達し”の有無は、「ある人」と「ない人」とがほぼ半々。

POINT4 年末年始に帰省予定がある人は36.7%、外食する予定がある人は44.8%・・・P8-9

▶年末年始の帰省については「予定がある」人が36.7%、「帰省先があるが帰省しない」人が20.1%、「帰省先がない」人が43.1%。また、それぞれの状況で外食を行うかについて「外食する・計」は44.8%。

本件に関する
お問い合わせ先

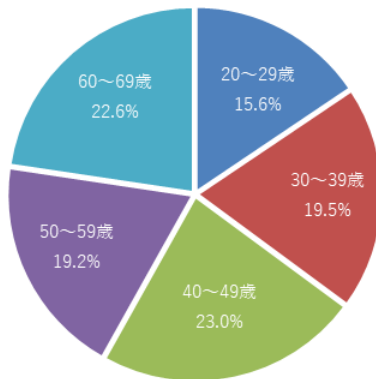
<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2021年12月2日

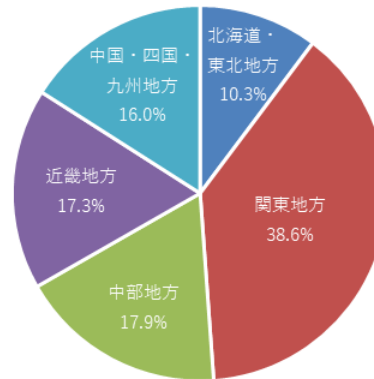
調査概要

- 調査名：「第6回 外食実態調査」
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～69歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2021年11月5日（金）～11月6日（土）
- 有効回答数：1,034件（男性517件、女性517件）

年齢



地域



【参考・過去調査】

<第1回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/recruit-lifestyle/uploads/2020/06/RecruitLifestyle_ggs_20200626.pdf>

- 調査名：「第1回 外食実態調査」
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～59歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2020年6月8日（月）～6月9日（火）
- 有効回答数：1,032件（男性516件、女性516件）

<第2回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/recruit-lifestyle/uploads/2020/09/RecruitLifestyle_ggs_20200915_2.pdf>

- 調査名：「第2回 外食実態調査」
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～59歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2020年7月31日（金）～8月1日（土）
- 有効回答数：1,032件（男性516件、女性516件）

※本リリースの時系列比較では使用していません

<第3回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/recruit-lifestyle/uploads/2020/12/RecruitLifestyle_ggs_20201222.pdf>

- 調査名：「第3回 外食実態調査」
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～59歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2020年11月6日（金）～11月8日（日）
- 有効回答数：1,032件（男性516件、女性516件）

<第4回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/2021/0422_8333.html>

- 調査名：「第4回 外食実態調査」
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～59歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2021年3月26日（金）～3月28日（日）
- 有効回答数：2,064件（男性1,032件、女性1,032件）

※本リリースの時系列比較では使用していません

2021年12月2日

<第5回調査: <https://www.hotpepper.jp/ggs/seminar/article/column/20210921>>

※第5回調査は2021年9月14日(火)実施の「外食総研セミナー」で使用し、プレスリリースを行っていません

調査内容はセミナー使用資料のP22~30参照

- 調査名: 「ワクチン接種が進む中での外食実態」調査 ■調査方法: インターネットによる調査
- 調査対象: 全国47都道府県に住む20~69歳の男女(マクロミル登録モニター)
- 調査期間: 2021年7月19日(月)~7月20日(火) ■有効回答数: 1,034件(男性517件、女性517件)

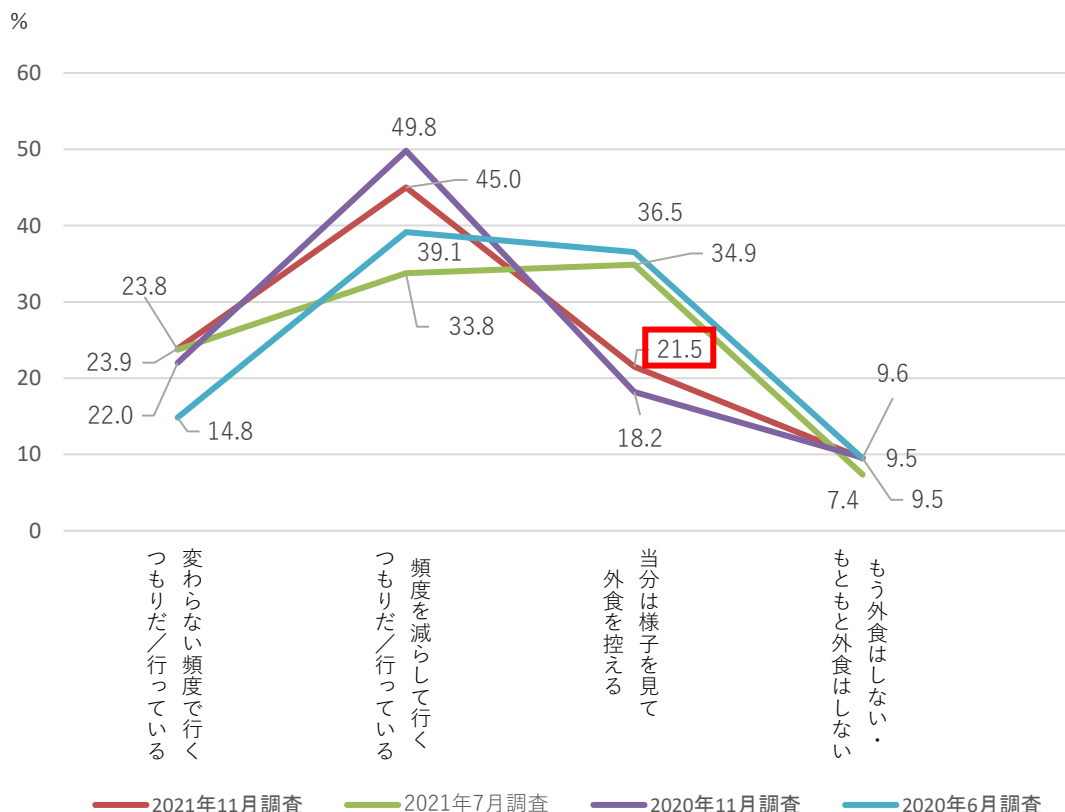
調査結果

◆現在の外食実施頻度

「当分は様子を見て外食を控える」21.5%。2021年7月より13.4pt減少、外食は回復傾向

コロナ禍前と比べての外食頻度の変化を聞いた。前回、2021年7月の調査に比べると、外食頻度はやや持ち直したようで、「当分は様子を見て外食を控える」とした人は21.5% (前回34.9%、前回比-13.4pt)と減少した。また、コロナ禍前と「変わらない頻度で行くつもりだ/行っている」(23.9%)、「頻度を減らして行くつもりだ/行っている」(45.0%)とともに、前回調査とほぼ同じか増加している。今回調査の折れ線グラフの形状は、2020年11月調査時に類似しており、この頃は政府のGoToキャンペーンが行われ、消費活動がいったん上向いた時期であり、コロナ禍前水準とはまだかい離があるものの、外食が一定の回復傾向にあるとみることができそうだ。

Q.あなたは現在、外食に行こうと思いますか？ 下記選択肢中の外食の頻度は、新型コロナウイルス流行以前の外食頻度と比較してお答えください。最もお気持ちに近いものをお選びください。(単一回答、2021年11月調査と同7月調査は過去調査との比較のために59歳以下のみ集計：n=800)



2021年12月2日

※2020年6月：Q. 6月上旬現在、外食に行こうと思いますか？上記選択肢中の外食の頻度は、昨年までの外食頻度と比較してお答えください。（単一回答、59歳以下：n=1,032）

※2020年11月：Q. あなたは現在、外食に行こうと思いますか？上記選択肢中の外食の頻度は、昨年までの外食頻度と比較してお答えください。（単一回答、59歳以下：n=1,032）

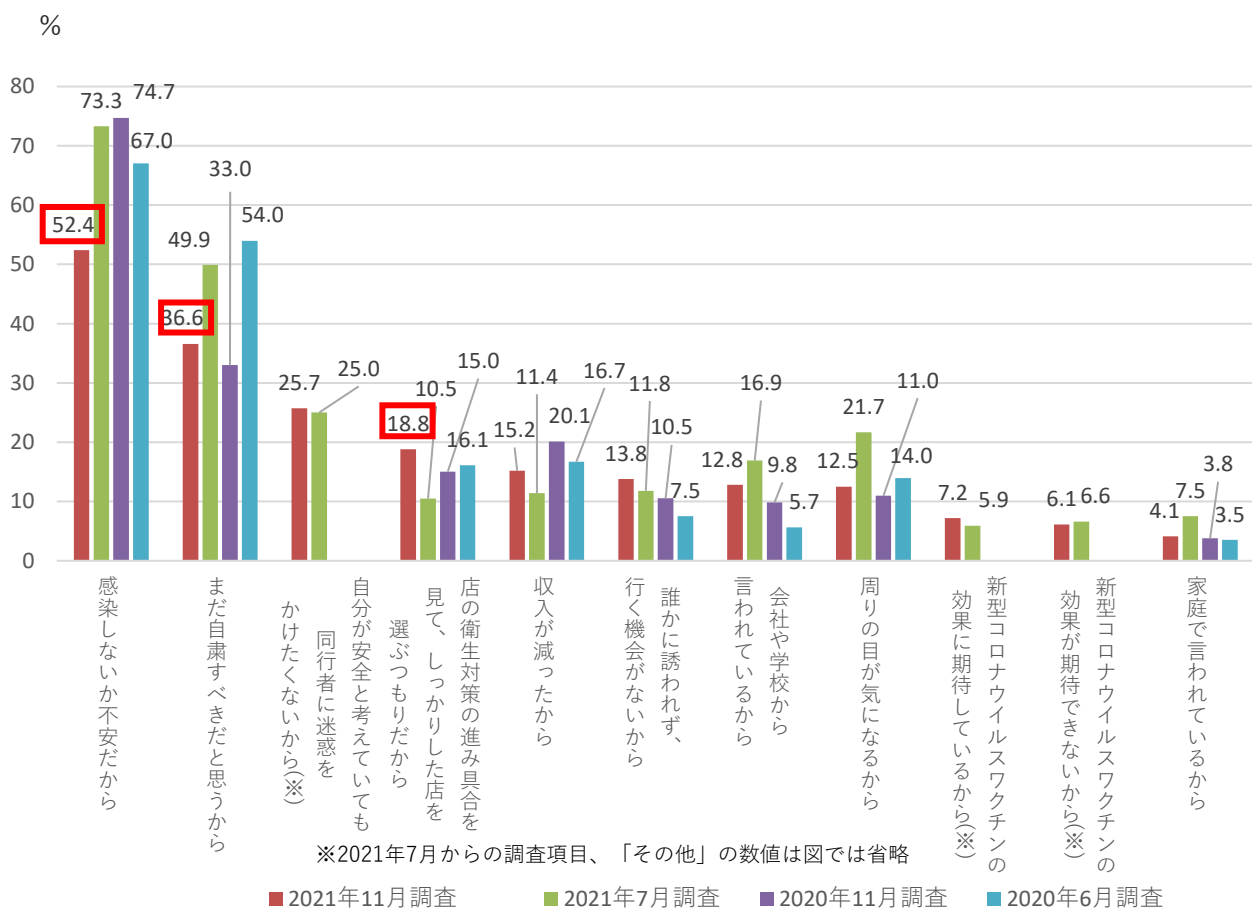
※2021年7月：Q. 世の中の人々が新型コロナウイルスワクチンを指定回数接種し、一定期間経過した後、外食に行こうと思いますか？コロナ禍前（2020年3月以前）の外食頻度と比較してお答えください。（単一回答、過去調査との比較のために59歳以下のみ集計：n=800）

◆外食意向が変化した理由

「感染しないか不安だから」「まだ自粛すべきだと思うから」と考える人は減少

外食頻度がコロナ禍前と比べて変化した人にその理由を聞いた。最も多かったのは過去3回の調査同様に「感染しないか不安だから」が52.4%（前回調査73.3%）、2番目に多かったのも過去3回と同様で「まだ自粛すべきだと思うから」が36.6%（同49.9%）。共に2021年7月調査よりスコアが下がっており、不安が和らいできている様子が見える。また、今回「店の衛生対策の進み具合を見て、しっかりした店を選ぶつもりだから」が18.8%と過去3回との比較では最も高い数値となっており、緊急事態宣言が解除されて一律の営業自粛要請がなくなったことで、主体的に店選びをしようという意向がみられた。

Q. コロナ禍前（2020年3月）と比べて、外食頻度が変化すると思った理由の中で大きいもの（複数回答、過去調査との比較のために59歳以下のみ集計 外食頻度がコロナ禍前と比べて変化する人：n=538）



2021年12月2日

※2020年6月：Q. 6月上旬現在、外食頻度が変化した理由（複数回答、外食頻度がコロナ禍前と比べて変化した人：n=795）

※2020年11月：Q. あなたは現在、外食頻度が変化した理由（複数回答、外食頻度がコロナ禍前と比べて変化した人：n=712）

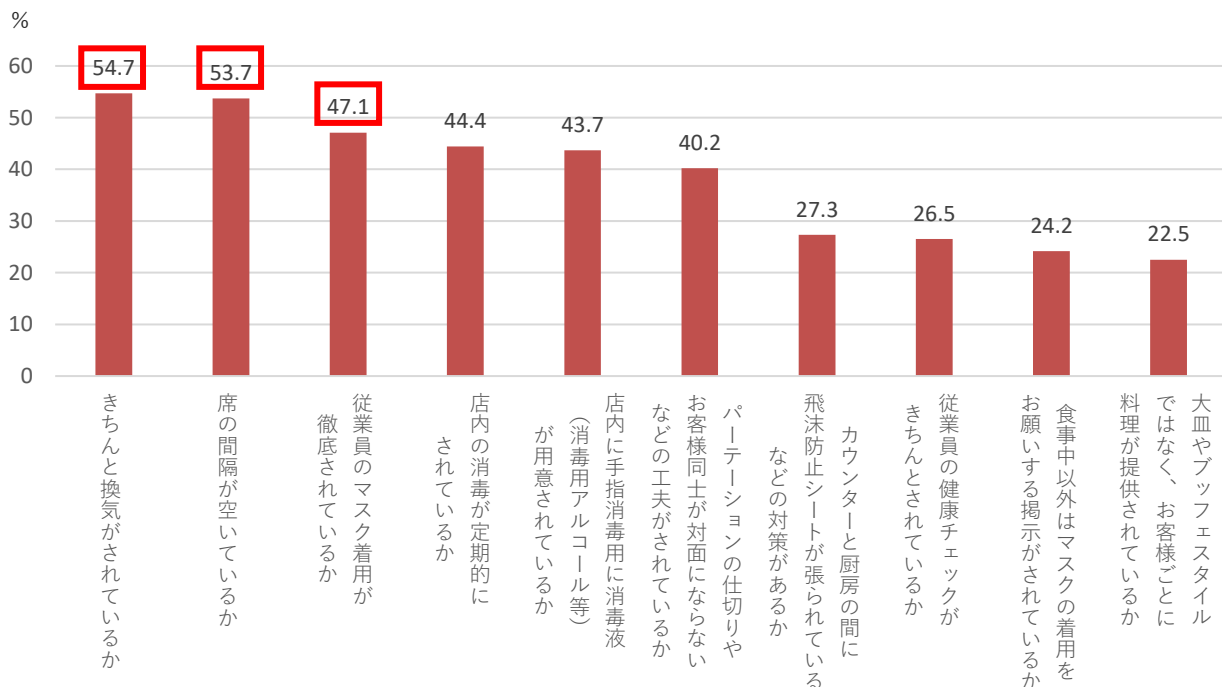
※2021年7月：Q. コロナ禍前（2020年3月）と比べて、ワクチン接種後をイメージした際に、外食頻度が変化すると思った理由（複数回答、過去調査との比較のために59歳以下のみ集計 外食頻度がコロナ禍前と比べて変えると回答した人：n=561）

◆今後のお店選びで気にすること

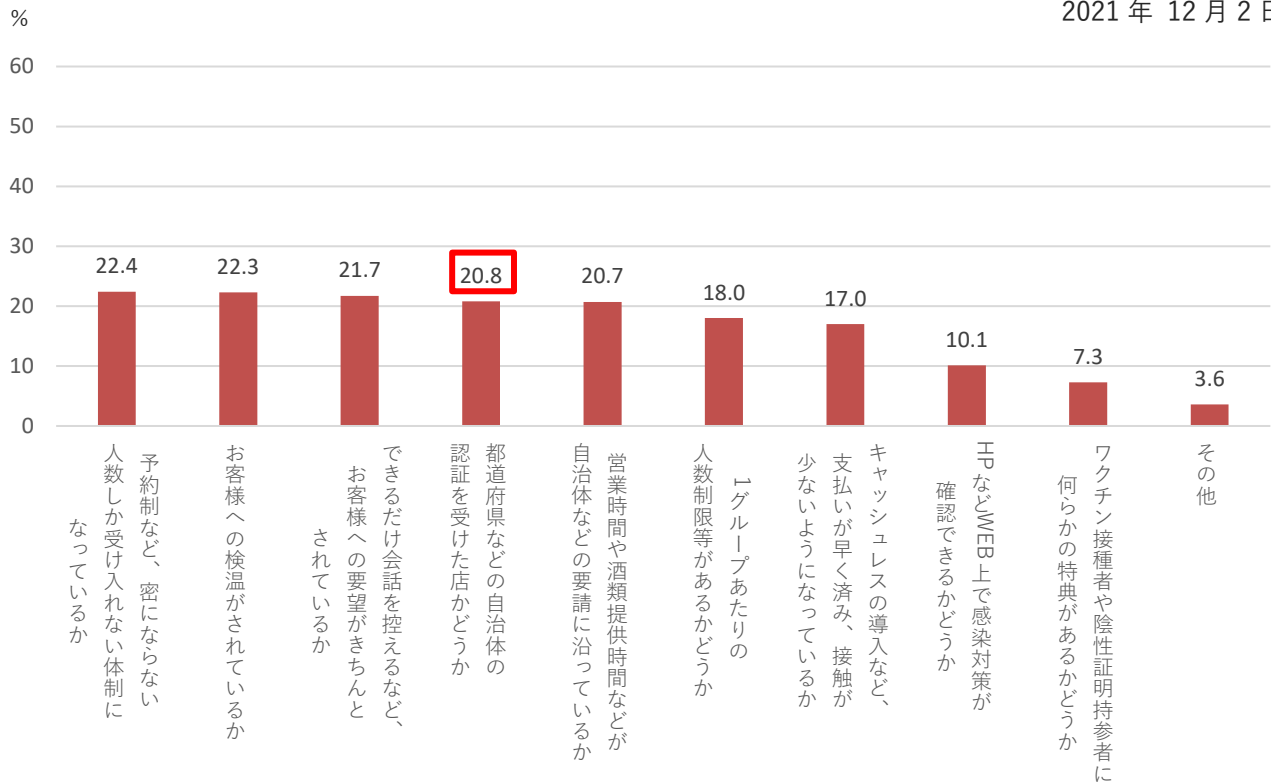
「都道府県などの自治体の認証を受けた店かどうか」を気にする人は20.8%

20～60代の対象者に外食するお店を選ぶ際に気にすることについて聞いた。全体の傾向はこれまでの複数回の調査で上位に挙げられた項目が、今回も上位にあることに変わりはないが、最もスコアが高かったのは、「きちんと換気がされているか」が54.7%。次いで「席の間隔が空いているか」が53.7%、3番目は「従業員のマスク着用が徹底されているか」が47.1%であった。今回、新たに加えた選択肢の「都道府県などの自治体の認証を受けた店かどうか」を20.8%の人がお店選びの際に気にしているという結果が得られた。換気や席の間隔ほど気にしている人が多いわけではないが、ある程度の影響はありそうだ。

Q. 今後、外食のお店選びをする際に気にすることはありますか？（複数回答、外食意向について「もう外食には行かない」「もともと外食には行かない」と回答した人を除く：n=946）



2021年12月2日

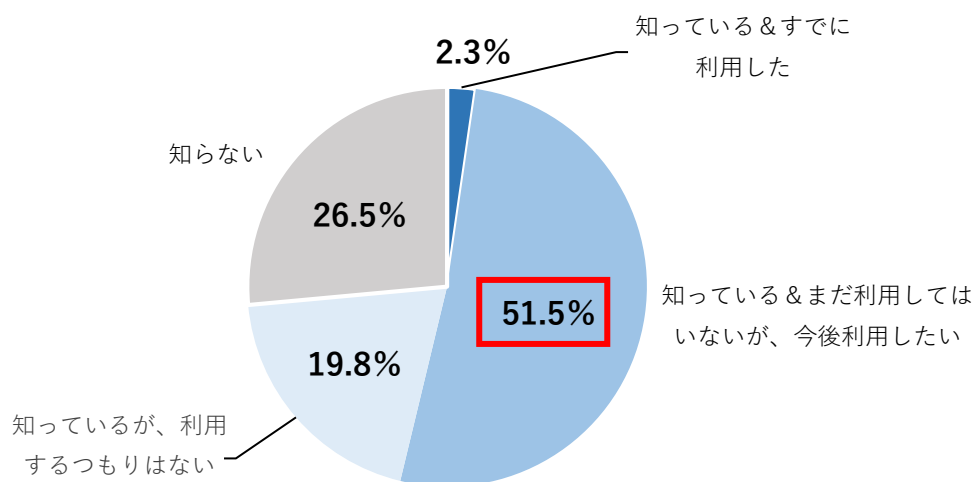


◆ワクチンパスポートと外食

外食店の「ワクチン接種証明書や陰性証明書の持参者への特典」を今後利用したい人が過半数

ワクチン接種証明書や陰性証明書の持参者に、特典のある飲食店の認知と利用意向を聞いた。「知っている（すでに利用した）」人はまだ2.3%と少ないが、「知っている（まだ利用してはいるが、今後利用したい）」人は51.5%と過半数であった。一方、「知っている（利用するつもりはない）」人は19.8%、「知らない」人は26.5%とそれぞれ2割前後いるという状況だ。

Q. ワクチン接種証明書や陰性証明書の持参者に、特典のある飲食店があることを認知していますか？また、その特典のあるお店を利用したことがありますか？※特典：接種を確認できた場合、店内の専用エリアで営業時間の制限なく利用可能など（単一回答、「もともと外食はしないし、ワクチンパスポートが運用されても変わらない」人を除く：n=956）



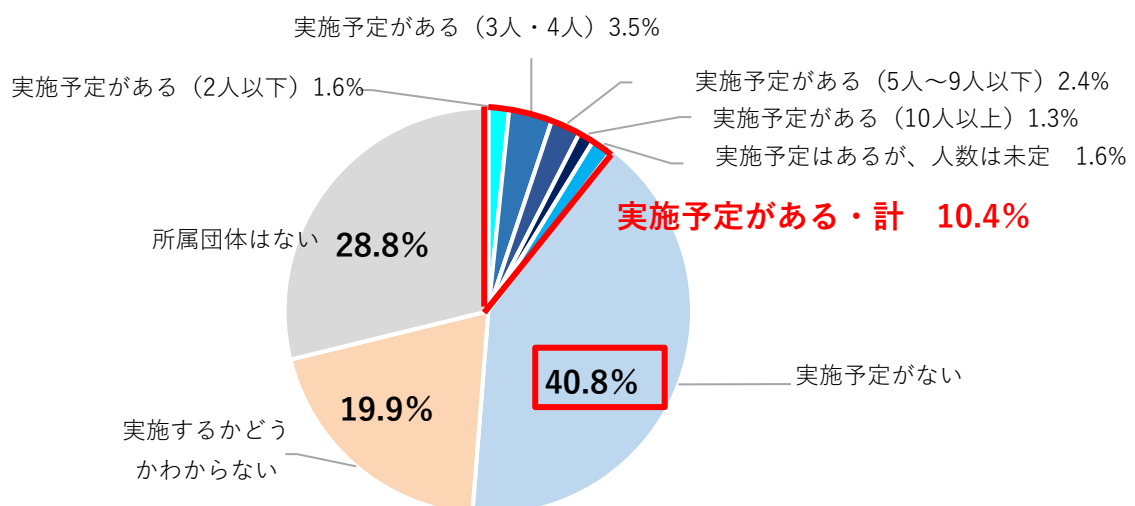
2021年12月2日

◆所属する組織・団体での今年の忘年会の実施予定

忘年会の実施予定が調査時点で「ある」人は10.4%、「ない」人は40.8%

所属する組織や団体（勤め先、学校、その他）における今年の忘年会の予定を聞いた。調査が11月上旬であったことから、忘年会の検討はその後本格化することも考えられるが、調査時点での予定としては、忘年会の実施予定が「ある」と回答した人が10.4%、「ない」とした人が40.8%、「わからない」とした人が19.9%、「所属団体はない」とした人が28.8%であった。「わからない」とする人も約2割いるため、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、実施状況は大きく変わりそうだ。

Q. 今年、自身が所属する団体（勤め先、学校、その他）の忘年会の実施予定がありますか？複数回予定のある人は最も人数の多い回を想定してお答えください。（単一回答：n=1,034）



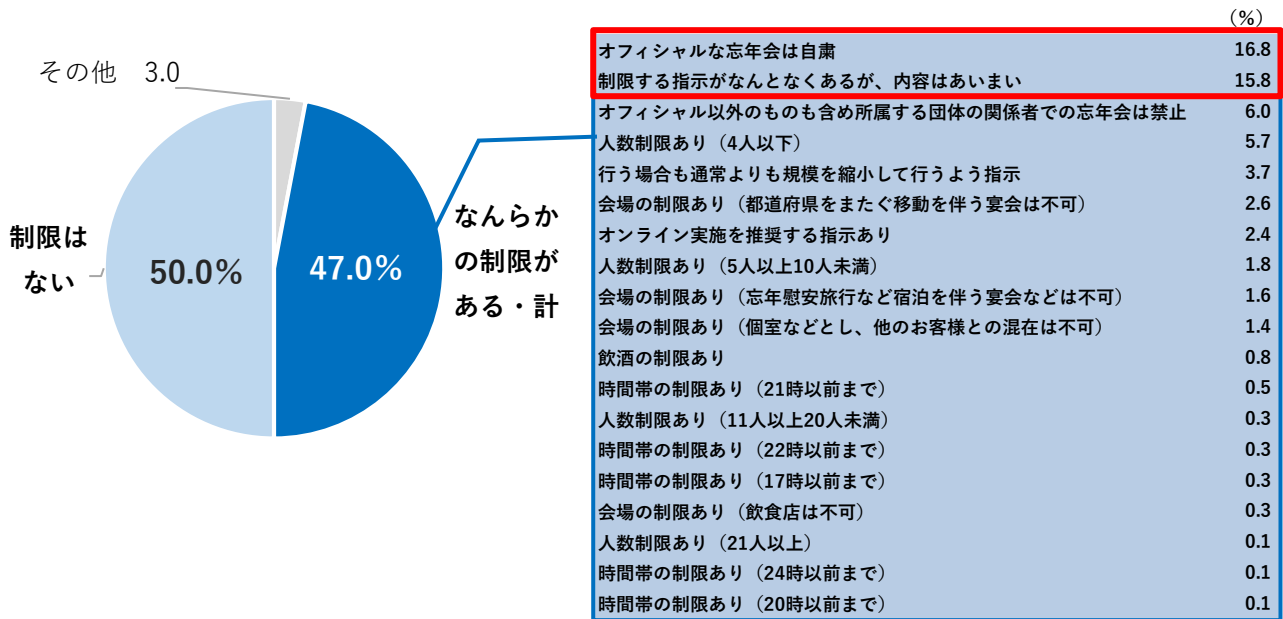
◆忘年会の制限についての指示

所属団体から忘年会への制約の“お達し”は、「ある人」と「ない人」とがほぼ半々

今年の忘年会について、所属する組織・団体（勤め先、学校、その他）から、何らかの制限や指示が出ているかを聞いた。細かい制限ごとの選択肢を積み上げて集計したところ、「制限はない」が50.0%、「なんらかの制限がある・計」が47.0%、とほぼ半々という結果であった。「なんらかの制限がある」の内訳としては、「オフィシャルな忘年会は自粛」が16.8%、「制限する指示がなんとなくあるが、内容はあいまい」が15.8%で比較的多く集中している。ほかに選択肢としては、人数や時間帯、会場等細かく用意したが、細部に渡る指示が出ているケースはあまり多くはないようだ。

Q. 現在、あなたが所属する団体（勤め先、学校、その他）では今年の年末の忘年会を制限するような指示がされていますか？あてはまるものをすべてお選びください。複数の団体に所属する方は主な団体についてお答えください。（複数回答、所属団体のある人 n=736）

2021年12月2日



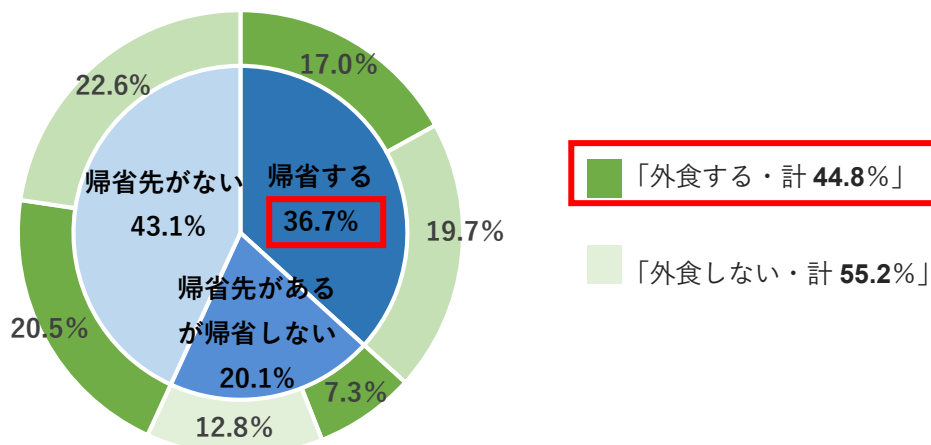
※「何らかの制限がある・計」は複数の制限がある場合は1件としてカウントして単一回答化したもの

◆年末年始の帰省や外出について

年末年始に帰省予定がある人は36.7%、外出する予定がある人は44.8%

年末年始に帰省の予定と外出の予定があるかどうかを聞いた。帰省については「帰省する」人が36.7%、「帰省先があるが帰省しない」人が20.1%、「帰省先がない」人が43.1%という分布となっている。また、それぞれの中で外出を行うかについて聞き、合算した「外出する・計」は44.8%となっている。この数字が例年に比べて高いのか低いのかは、経年のデータがないためなんとも言えないが、現状は昨年ほどには行政から帰省自粛の呼びかけがなされていないことから、少なくとも昨年末よりは帰省する人は増加するのかもしれない。

Q. 今年の年末年始は帰省や外出などを行う予定ですか？（複数回答 年末年始の予定を「帰省先があって帰省予定がある人」「帰省先があって帰省予定がない人」「帰省先がない人」のいずれかに分類して複数回答を集計。ただし、3パターンで重複する場合は無効として集計から除外：n=795）



※「外出する・計」は、帰省する・しない人の中で「家族と外出をする」「家族以外と外出をする」「忘新年

2021年12月2日

会・同窓会などの宴会予定がある」「一人で外食する」「旅行で外食する」のいずれかを選択した人を合計

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>